

指宿市の温泉事業

指宿市 水道課



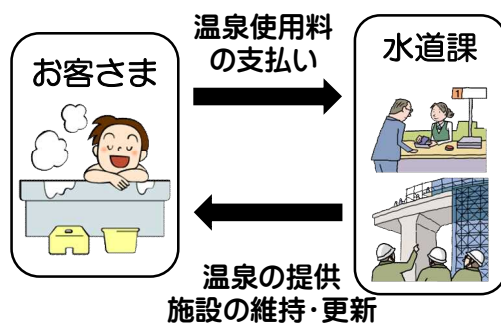
知ってほしい！温泉供給事業の現状と課題

1. 市の温泉供給事業は、皆さんからいただく温泉使用料で運営しています

温泉を快適にお使いいただくために必要な施設の整備と維持管理の経費は「税金」ではなく、**皆さんからいただく「温泉使用料」で賄われています。**

しかし、人口減少により温泉使用料が減少する一方で、約80年にわたる温泉供給で、施設の老朽化が進み、修繕等の費用が増加しています。

少なくなる収入，多くなる費用と収支の両面から温泉供給事業を取り巻く経営環境は、厳しい局面を迎えています。



2. 温泉使用料の使い道について

皆さんからいただく「温泉使用料」の**約8割**は **施設のため**に使われています。

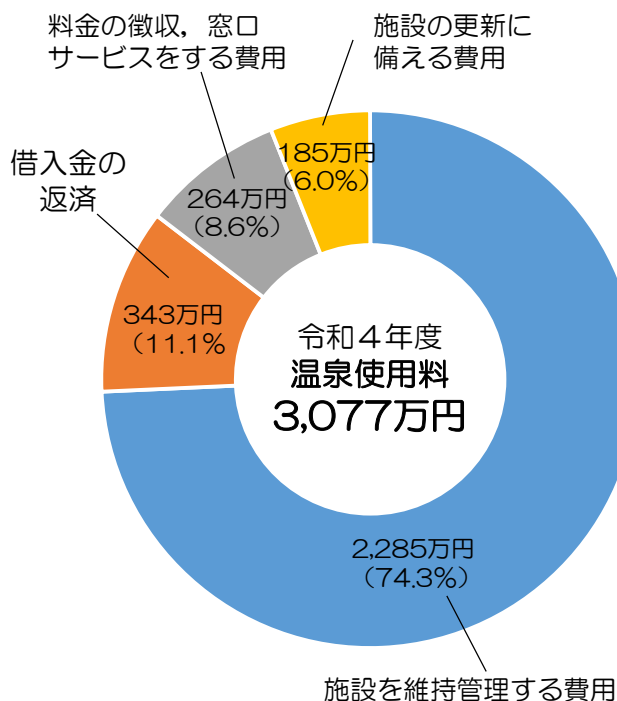
施設の老朽化による修繕費や電気料の変動により、大幅な削減が難しい状況の中、「温泉使用料収入」内で賄うよう、経費削減に努めています。

◆施設の維持管理する費用

- ・泉源や配湯施設の点検
- ・施設や給湯管の修繕
- ・ポンプなどの電気料

◆施設の更新に備える費用

- ・更新計画の作成委託など

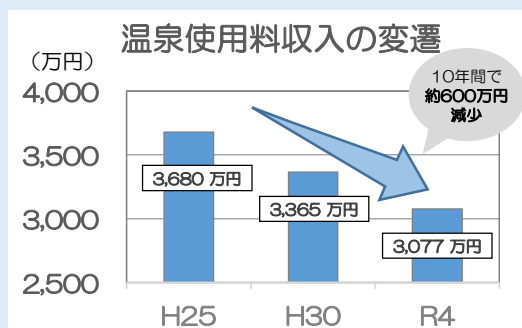


3. 温泉供給事業が抱える課題

課題① 財源の確保

温泉使用料は世帯人数や湯船の大きさなどによって料金が決まります。使用量による変動はありません。

温泉を利用する家庭が減っていることなどの影響で、温泉使用料収入は減少しており、今後も財源確保がさらに厳しくなると予想されます。



課題② 費用の増加

泉質の影響でスケール(湯の華)が配管などに付着し、設備の劣化を早めるため、修繕や清掃に係る費用は、年々増加しています。

また昨今の物価高騰で電気料も増加しており、費用の大幅な削減が難しい状況が続くと見込まれます。



漏湯している温泉配管



スケールが付着した温泉配管

課題③ 老朽化した施設の更新

温泉供給事業は今まで80年以上にわたり供給を続けているため、半数以上の施設が耐用年数を超えており、全体的に老朽化が進んでいます。

また一部の配湯地域について供給圧が不足しており、新規配湯の受付を一時休止しているため、高架貯湯槽の更新が必要不可欠となっています。

今後も安定的に温泉を供給するために計画的な更新工事が必要ですが、財政上の問題からその全てを更新・改修する余裕がないのが現状です。



弥次ヶ湯泉源及び配湯施設
揚湯ポンプ



湯之里配湯施設
送湯ポンプ配管



摺ヶ浜配湯施設
高架貯湯槽

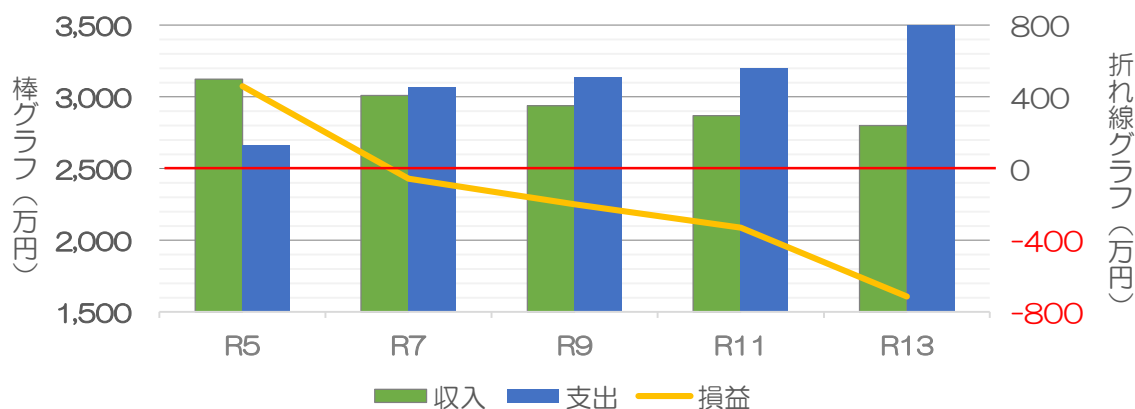
4. 温泉供給事業の将来

数年後は赤字経営

今後、高齢化の進行や人口減少に伴い、温泉使用料等の収入は減少し、老朽化による修繕や物価高騰による支出は増加すると見込まれます。

このまま対策を講じなければ、令和7年度以降は赤字に転じます。

また、資金は減少していき、令和14年度時点には資金が底をつきます。

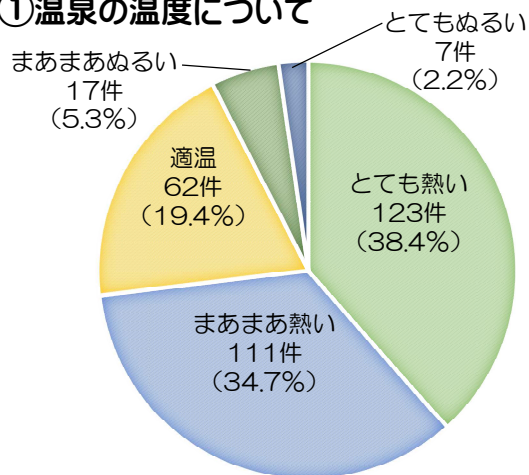


5. 温泉に関するアンケート調査の実施

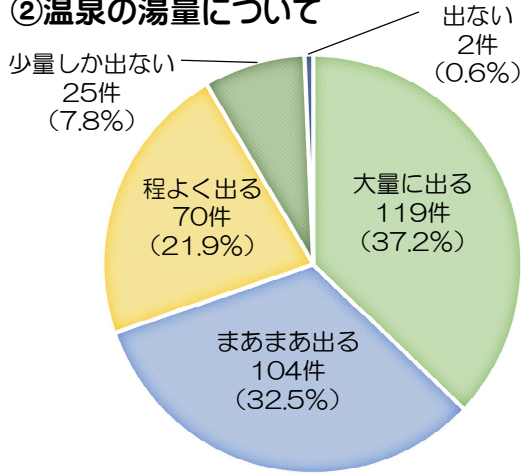
市温泉供給事業の持続を図るにあたり、令和5年12月に市営温泉使用者に対して、アンケート調査を実施いたしました。調査対象となった方につきましては、ご協力していただきありがとうございました。

◆アンケート調査結果（一部抜粋） ※詳細は、市ホームページにて掲載しております。

①温泉の温度について



②温泉の湯量について

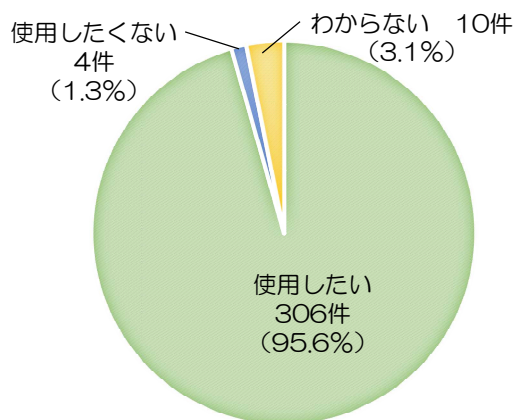


【お客様の声（一部抜粋）】

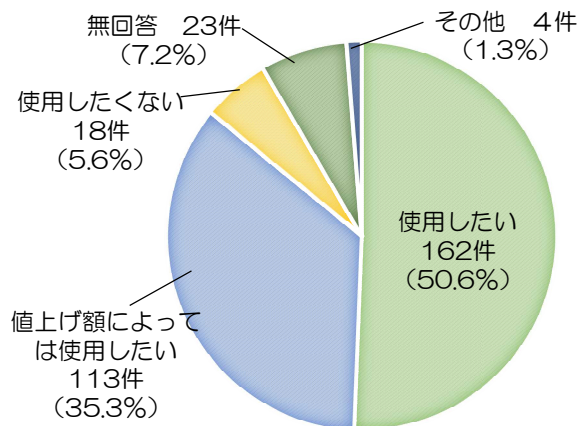
- 昔より温度が低く、湯量も減ったように感じてこの先心配です。
- 朝は特に温度が低くて困っている。指宿の最大の目玉の温泉をいつまでも供給できるようにしてほしい。
- 冬場は10分以上お湯を出さないと熱いお湯が出ない。いつでも適温が出るようにしてほしい。
- 本管清掃をしてから、温度湯量はよくなった気がする。清掃など積極的に施設維持を行ってほしい。

5. 温泉に関するアンケート調査の実施

③今後の温泉使用について



④温泉使用料の値上げ後の使用について



【お客様の声（一部抜粋）】

- ☞ 温泉があるからこそ、指宿の土地を買って住んでいるので、なるべく温泉を使用したい。
- ☞ 毎日温泉を利用しているので、やめることは考えられない。
- ☞ 温泉は本当にいい。使用料は可能な限りおさえてください。
- ☞ 施設の維持管理が大変なことでもあり、現状の使用料は合理的かどうか分からないが、いつまでも同じ使用料で耐えられるものとも思えず、値上げも検討課題ではないか。

6. ～温泉の未来を守る～市温泉供給事業審議会を設置しました

持続的で安定的な温泉配湯のため適正な温泉使用料の検討を目的とした審議会を設置し、令和5年11月から令和6年3月にかけて3回開催しました。

【市温泉供給事業審議会のまとめ】

第1回 (R5年11月)	厳しい財政状況や施設の老朽化など、温泉供給事業の現状や課題について説明を受け、適正な温泉供給事業の改定について検討することを確認しました。
第2回 (R6年2月)	12月に実施したアンケート調査結果の報告を受けました。改定率について家庭用20%、営業用40%値上げを基本に検討しました。
第3回 (R6年3月)	審議会での検討内容に基づき作成した答申書（案）を確認し、答申することを決定しました。

【5月16日（木）に市長へ答申書を提出しました】

温泉使用料	温泉使用料など収入が減少する一方で、これ以上経費を削減するのは厳しく、今後黒字の維持が困難な状況である。安定した温泉供給を維持するため老朽化した施設の更新が必要であることから、温泉使用料を引き上げる改定が妥当だと判断します。
改定率	老朽化した施設の更新費用を加えた必要経費にも合う温泉使用料を試算したところ、家庭用20%、営業用40%の引き上げが望ましい。
改定時期	使用者への周知期間を考慮し、令和7年4月請求分から適用することが望ましい。

答申を受けて慎重に検討し、9月議会において指宿市営温泉供給管理条例の一部を改正する予定です。